

放課後子ども教室だよ

国見っ子わんぱく広場訪問

令和2年9月12日(土)訪問

○開設年度	平成17年	○参加者	対象学年：1～3年生
○活動場所	国見小学校体育館等		登録児童数：55名
○実施回数	9回(今年度は6月～翌年2月)	○活動内容	レクリエーション
○実施時間	4時間 主に土・日(8:00～12:00)		創作活動 季節の行事
○登録スタッフ	安全管理員：2名 活動指導員：11名		科学工作 等

コロナ対策をしながらも 子どもたちがのびのびと活動できる工夫が満載!

「国見っ子わんぱく広場」は、開設してから15年間、地域の子どもの安心・安全な活動拠点として様々な体験・交流・学習機会の場を提供してきました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため6月からのスタートとなりました。

スタッフのほとんどが地域住民の方で、開設当初からのスタッフも多数在籍しています。活動の目的や子どもたちへの接し方等、スタッフ全員が意識を共有し活動に臨んでいます。地域コーディネーターの方のお話では、「スタッフの方の意識が高く、自分で考えて対応することができる方ばかり」だということでした。

訪問当日の活動は「体を使ってのゲーム」でした。13名の活動指導員・安全管理員のほか、講師として町のレクリエーション協会の方6名が子どもたちの活動をサポートしていました。体育館を広く使い、平均台を使ってバランス感覚を養うことができるゲーム、段ボールに空けられた穴の中に丸めた新聞紙を投げ入れるゲームなど5種類ほどのコーナーが用意されており、グループごとに移動しながらそれぞれのゲームを楽しんでいました。

子どもたちも、積極的に手指消毒やソーシャルディスタンスなどの感染症対策を取り、身体を動かす楽しさを味わいながら活動に取り組んでいました。



必見

画用紙一枚で…

コーディネーターの説明を聞くとき、子どもたちは、前後左右の間隔を取りながら整然と並びます。「集まってください。」の一声だけで1～3年生の子どもたちがこのように整列できる秘密は、この床に貼られている画用紙にあるのです。学年ごとに色分けされており、1年生の画用紙には児童の名前も書いてあります。2・3年生は自分で場所を選んで座ります。

また、この画用紙には野菜や動物などのカードが貼られています。「〇〇グループ集合!」と声をかければ、あっという間にグルーピングができるのです。整列しただけで自動的にグルーピングができる工夫に驚きました!



コロナ禍における活動のヒント

「大勢の低学年の子どもたちがのびのびと活動できるようにするには、どうしたらよいか・・・。」低学年の児童を預かっての活動なので、新型コロナウイルス感染症予防対策には特段の配慮が必要です。密になる状態を作らないために、毎回コーディネーターとスタッフが活動の方法や感染予防対策等を真剣に考えているとのこと。

今回の活動で参考になる点は、以下のとおりです。

- ① 体育館を広く使い、密にならないような場づくり・活動内容を設定していること。
- ② スタッフがグループに一人ずつ付いて子ども達に関わることで、ソーシャルディスタンスを保ちながら子どもたちの活動が安全に行えるようにしていること。
- ③ レク協会の方が各コーナーの遊び方について子どもたちにアドバイスしていること。

「STAY HOME」のため、なかなか体を動かして遊ぶことができない子どもたちに、一人一人の運動能力に応じた支援が行われていた点もすばらしいと感じました。